

芸大メーリングリスト

学部・学科、生徒と教職員の交流を目的にする電子メールによるコミュニケーションの場がある。
さまざまな可能性を感じさせる、新しいネットワーク。



芸大メーリングリストの運営を始めて、はや四年になります。この間に芸大を卒業されたメンバーも多く、今では海外に帰国して研鑽を積んでいる元留学生や、遠方の美術館や大学に就職された元助手の方などから、時折便りが届くようになりました。

メーリングリストとは、電子メールを使って一度に大勢の人と交信できるシステムのことを言います。特定のメールアドレスにメールを送ると、参加メンバー全員に同じメールが配信され、その繰り返しにより、メンバー間の会話が進行していきます。

新しいメディアが、出会いの契機を広げる

藤本徹



音楽学部・美術学部の枠を越えて、恒常的に意見を交換をする場として「メーリングリスト」は発想された。

芸大メーリングリストはこのシステムを用い、学内の学部学科・生徒教職員相互の交流を目的として設立されました。東京芸大に在籍されている方、あるいは過去にされていた方であれば、誰でも参加自由です。現在の登録メンバー数は約二三〇名。音楽・美術双方の学部生・院生はもとより、各科の助手の方、先生方、美術館の職員の方など幅広い層からのご参加をいただいています。

交わされるメールの内容は実に多様です。公演や展覧会、研究会、各種イベントなどの告知や感想、旅先からのメールなどのほ



前野まさる建築科名誉教授主催の「外堀舟巡りツアー」をはじめ、メーリングリストをきっかけにさまざまな出会いが生まれた



芸大メーリングリスト

現在の状況 (2003年2月21日現在)

メンバー数 : 232名

メンバー構成 :

学部生 (両学部・両校地)	101名
大学院生・研究生	52名
助手・教官・職員 (美術館含む)	44名
卒業生・離職者ほか (上記除く)	35名

設立年 : 1998年
 設立者 : 足立元 (日本美術史博士課程)
 現管理者 : 藤本徹 (筆者・99年より継続)

問い合わせ・登録希望は管理者
 アドレス spring@bitcat.net
 までお願いします。

か、稀に先生同士で交わされる昔の芸大の思い出話や、上野谷中のうまい店情報などもあり、ローカルなメーリングリストならではの「読む」楽しさがあります。

私が運営を続けている動機の一つには、音校・美校の隔たりに顕著なように、学部学科間での意見や情報の往来があまりに少ないという実感があります。大浦食堂やキャッスルなどで各科の学生が別々に集い相異なる雰囲気を感じている様子は、時に使っている言葉すら違つように感じることもあります。けれども「芸術表現を追求する、考える」という一点においては、専攻が何であれ芸大にいる人々は互いに違いはないはず。そうしたことから、サークルや芸祭、共通講義などの限られた機会によるのではなく、もっと恒常的な科を越えた意見交換の場が欲しいと思い、今に至っています。

この運営をしていて何よりも楽しいことは、自らが携わる場でいろいろな人たちが勝手に出会い、それをきっかけとした企画などが次々に生まれていくことです。かくいう私自身もこれまで、先端科で行われたイスタンブール・ビエンナーレでの滞在企画や、絵画科主催の展示企画などへの参加、前野まさる建築科名誉教授主催の「外堀舟巡りツアー」の幹事などをしてきましたが、音校や相手の学生たちとの交友なども含め、いずれもメーリングリストでのさまざまな出会いがなければ考えられないことでした。

今年の六月には大学陳列館において、自らがキュレーションを手がける「ミュンヘン国立芸術アカデミーとの交流展『プレゼンター二〇〇三』」を企画しています。芸大側出展学生の所属学科は多岐に渡ります。それが可能となったのもまた、この場で培ったネットワークのおかげです。

電子メールの普及と共に登場したこのメディアの可能性は、いまだ未知数といえます。私の卒業後も含め、この場が今後どうなっていくのか、それも楽しみの一つです。

(ふじもと・とおる / 芸術学科三年・芸大メーリングリスト管理者・二〇〇三年度プレゼンタ実行委員長)